

令和4年度
中学校教育課程編成の手引
【外国語科等編】

外国語科における
1人1台端末を活用した
「個別最適な学びと協働的な学び」

北海道教育委員会

外国語科における 1 人 1 台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」 （中学校）

1 単元の概要

学 年：第 2 学年

単 元 名：「まとまりのある文章の必要な情報を読み取ったり、概要や要点を捉えたりする」 7 時間扱い

単元の目標：あるテーマについての英文を読んで概要や要点を捉えるとともに、その内容を基に自分の意見や考えを伝え合うことができる。

2 事例におけるICT活用のポイント

- ・生徒が概要や要点を捉えるためにキーワードに下線を引いた箇所やマッピングなどを蓄積、共有できます。
- ・端末を活用した個別化による学習意欲の向上、録音・録画の定期的な実施による変容が確認できます。
- ・プレゼンテーションソフトを活用することにより、即興で自分の考えを伝え合う活動ができます。

3 使用したソフトや機能

- ・学習支援ソフト・動画撮影ソフト
- ・文書作成ソフト・プレゼンテーションソフト
- ・音楽作成ソフト

【参考資料】

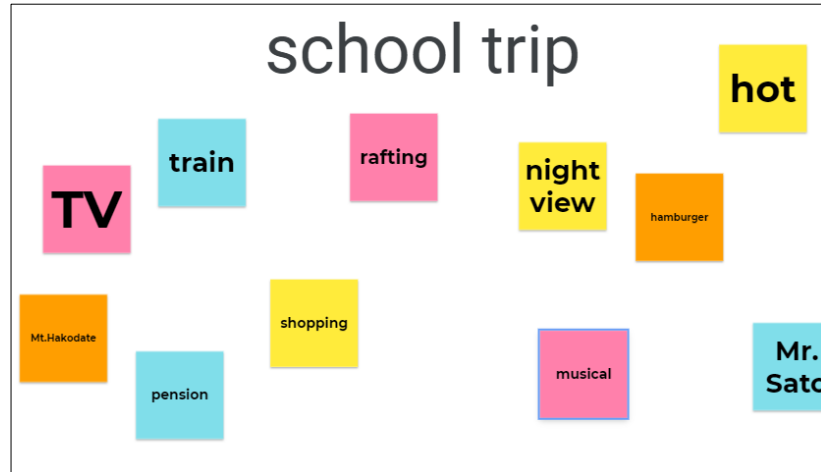
- ・ GIGAスクール構想のもとでの
中学校外国語科の指導について（文部科学省）



外国語科における1人1台端末を活用した 「個別最適な学びと協働的な学び」(中学校)

4 1人1台端末の活用例

【ICTの活用場面①】



〔共同編集とタイムリーな指導が可能〕

- ・ ホワイトボード機能を活用することにより、個人思考で他の生徒が記入したテーマに関わるキーワードを共有し、読み取った要点や概要をもとに自分の考えを整理することができます。
- ・ 自分の考えを伝え合う際には、その様子を定期的に録画、録音することにより、音声面だけではなく、コミュニケーションを続けるために有効な質問等を客観的に検証し、即興的な発信力や表現力を高めることができます。
- ・ 好事例や共通のつまずきについて共有することにより、中間指導を充実させることができます。

【ICTの活用場面②】



〔自分のペースで語彙を増やす〕

- ・ イヤホンや端末の再生機能を使用することにより、生徒が周囲を気にせず自分のペースで音読練習に取り組むことができます。
- ・ オンライン学習ツールを活用することにより、単語カードを作成するなど、語彙の獲得に向けて休み時間や家庭で学習することができます。
- ・ 教科書の单元ごとのまとめりだけではなく、生徒が頻繁に調べたり言語活動で使用する単語を集めた単語カードを作成したりすることができます。
- ・ 単語カードは生徒自身が苦手な単語を集めて自分の練習用のカードにしたり友達と問題を出し合ったりして活用することもできます。

外国語科における 1 人 1 台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

①生徒の主体的な学びの推進

- ・モデルを提示することにより、生徒は見通しをもって主体的に活動に取り組むことができます。
- ・パフォーマンステスト等を録音・録画することにより、生徒は次時において意欲をもって取り組んだり、課題を意識して言語材料の理解や練習を自分のペースで進めたりすることができます。

②言語活動の充実に向けた活用

- ・ウェブ会議システムや、電子メールなどを活用することにより、英語話者との「本物のコミュニケーションの」機会の提供することができます。
- ・写真やイラスト等を活用することにより、日本語を介さずに英語で理解することを支援することができます。



【参考資料】

- ・外国語の指導における ICT の活用について
(文部科学省)



【スライド資料】



【解説動画】